



# おちほ

第10号  
1983年10月2日発行  
社会福祉法人 権の木会  
落穂寮  
発行者 増田正司

## 親子合同運動会を開く

落穂寮長 増田正司

第1回の親子合同運動会を、常日頃お世話になつてゐるお密様を御さんや兄弟姉妹の皆さん、元氣な寮の子ども達と職員とともにここに盛大に開催するこゝろができたといへんありがたいことです。

秋が深まり周辺の野山の色あいが少しづつ変つていきます。子ども達への理解も深まつて子ども達と職員の間がしつくりとつながり、信頼関係が強まります。この信頼の心が知恵おより、子どもたちにとりも新任の職員が解るのも秋が深まるこの時季です。

秋の運動会は寮の生活の中で大事な行事になつていきます。人間は自然から学ぶことは多いのです。自然は変化から情感が養われ、四季のさまざまな色どりに我々は自然を楽しみますが、その時々、生活の中に色あいの変化をつけ子ども達の心を弾ませる工夫に寮の行事があります。それが教育や指導上のさまざまな刺激をうけ入れる柔軟な心になり、よりよい親子合同運動会と名付けているのは、寮の生活に親御さんが気軽に入つてお手伝いしてほしい、職員の足らないうち、そして職員といっしょに子どもを見守つていきましようという考え方に基づいています。子ども達は親の無私な愛と寮の教育の愛とで人間性豊かに育てられることになり、そして更に、一般社会の人達の温かい理解とお力添えが加われば子ども達は充実した毎日を送ることが出来るのではないかと。今日ご招待したお客様は社会生活の言わばベテランの方々ばかりであり、人生の長い経験から得られた知識や知恵をお借りして施設づくりや子ども達の幸せづくりにつくしたいと考えます。寮内外の力の結集と持ち寄り、寮の子どものために育てることに福祉の環を拡げることになると信じております。





# 新人紹介コーナー

吉岡美恵子



私が高穂寮で働く様になってから半年が過ぎました。今年高穂寮に就職したのは、私一人だったのでも心細くて仕方ありませんでした。アルバイトとして働いている頃、A棟の静養室で一週間程、寝泊まりしていたのですが、宿直の先生に気付けられない様に声を殺して毎晩泣いていたことを思い出します。その頃は一日に三言ぐらいしか話さなかったし、「私は自閉症になるのではないかと真剣に考えたものでした。今の私からは想像もできません。



はつきりとは覚えていないのですが、小学夜のバス旅行で障害者の団体と出会いました。はつきりとした話ですが、その時は怖くて怖くて仕方ありませんでした。障害者を人間として見ていなかった様に思えます。そんな私が施設保母になろうかなとぼんやりと考え始めたのは、高校三年の頃から決心したのは短大の施設実習の後でした。母が父のために働く仕事が出来ればと言っていました。実習をしてみても施設保母こそ私の仕事だと感じました。実際に保母として働いてみて一番驚いたのは、先生方がよく動くことです。毎日の洗濯物の山、草刈り、長靴はいてスコップ片手の土方仕事、朝の特訓(体操)、町内会のお付合せ合い、などよく動くなあ。今だに感心しています。まだまだ諸先生方の足もとにも及びませんが私なりに頑張るつもりです。御指導よろしくお願ひいたします。



## 一学期を振り返ってみて

5月 氏神まつり、潮干狩り  
 6月 短期帰省  
 7月 セタフェスティバル  
 8月 湖畔学舎  
 楽しかった湖畔学舎のことをもう少しくわしくお知らせしたいと思います。  
 今年は、8月1、2、3日の2泊3日で安曇川にある、県青少年レクレーションセンターにお世話になりました。





# 神戸がらのおたより

親和女子大学合宿生一同より

去る9月に見学に来られた親和女子大学のみなさんへのおたよりです。

暑さもいくぶんやわらぎ、秋らしく朝夕も過ごしやすくなつてまいりました。さて9月2日には、心良く見学をひき受けていただきました。ありがとうございました。おかげさまで私達80名の合宿が素晴らしいものとなりました。

私達は、落穂寮を見学させていただき、本当に様々な事柄を学びました。お部屋の清掃のゆき届いたこと、フールの中から声をかけてくれた子どもたち。中でも一番印象に残ったのは何と、つても子どもたちの作品です。あの作品を見ることにより、理屈抜きに一人の人間の素晴らしさというものを感しました。たと

え、どこに障害があろうと、リッパは一人の間である。欠けがえのない存在なのだと思つたものです。様々な可能性を秘めているのだ。またあの子たちには、か持ちえないものは、真に生きていると思ひました。このような施設をあまり見た経験がない私達が自分の眼で見、一人一人何か感じとれたことを大変嬉しく思うとともに、この様な機会を与えて下さつたことに大変感謝しています。これから何かと御苦労が多いことと思ひます。お身体に気をつけて子ども達の指導に頑張つて下さい。私達も、これを機会に広く福祉について考えていきたいと思ひつていきます。

最後に80名という多く人数で行きましたのに、心良くおいしい梅茶を用意していただき、本当にありがとうございました。

親和女子大学合宿生一同



あいにくお天気はくもりがちでしたが、1日目の夜の花火、2日目の夜の寝芸大会、どれも楽しく、昼間は水泳、夜は寝芸と盛りだくさんの3日間を過ごせました。





# 感動のドラマとのであい

## みんながんばれ!

き  
よ  
う

### 第19回親子合同運動会開催



毎秋恒例の親子合同運動会も今年で数えて19回目。季節がら忙しい中を参加いただきましてありがとうございます。うごこいます。今日一日短い時間ですが充分にお楽しみください。



シンボルマークご全種目に参加し出身地域の入達とたのしく過しました。

滋賀県スポーツカーニバル開催  
希望が丘に2000人の集い

第二回滋賀県スポーツカーニバルは、九月一日秋深まる希望が丘公園内の陸上競技場で開催されました。今大会は去年第一回大会に参加がなかった在宅の障害を持つ人達も加わり、全県下二千余人の人達が九種目の競技に参加、それぞれ交流を深めました。又今年はこの大会のシンボルマークが決定されました。これは能登川町の小林さんの作品で、障害を持った人達とみんなが手を取りあつて「愛」を創り出そうということが図案化されています。

落穂寮の子ども達も、徒走玉はこび又トラックをほぼ四周する一五〇

### お元氣

黄色くなった稲田の間にひときわあざやかに色を添えて散点しているものがありません。燃えるような緋の曼珠沙華。もう秋です。すっかり秋になりました。▼先日近くの小学校の運動会をのぞいてきました。五年生、六年生たちが夢中になって一〇〇メートルを疾走していました。あのスタートの前の胸の高なりを今も忘れることができません。それにしても、陸上選手のようなスマイルなフォームで走っている今の子ども達には感動なくしては見られませんでした。▼落穂寮の子ども達の運動会は、小学校で見られたような、さつそうと走りぬけるスマイルさはありません。けれども子ども達も、自分のメいっぱいがんばっている様子に出会った時、私達は深い感動を受けるでしょう。早さを競うとか力くらべではない運動会に御声援下さい。

(山下)